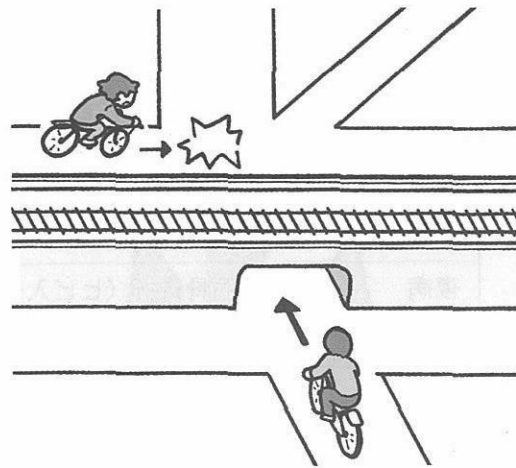


事例38 バイクで走行中、交差点で衝突する

1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験1ヶ月、30歳代の男性
作業	通勤途上
災害の型	交通事故（道路）
起因物	バイク
傷病	骨盤骨折（ヒビ入り）
災害の程度	3ヶ月の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、バイクで利用者宅に向かうとき、信号のない交差点にさしかかったとき、左側からきたバイクと側面衝突した。

衝突したはずみで、右側面に投げ出されるように転倒、その際、右半身腰部を骨折した。

3 原因

- (1) 信号のない交差点を、確認を行わず進入した。
- (2) 危険に対する予知予測の運転をしていなかった。

4 対策

(1) 事業者

- ① 交通災害が起こりやすい場所等を書き込んだヒヤリハットマップを作成し、提供する。
- ② 交通安全教育を定期的実施する。
- ③ 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。

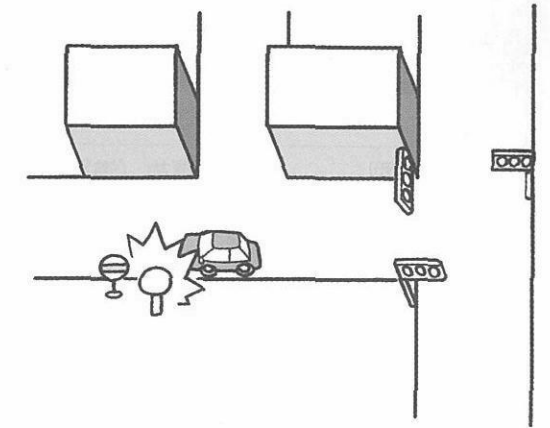
(2) 介護労働者

- ① 信号のない交差点への進入は一時停止を確実にし、他の車等の進入を確認する。
- ② 「～だろう。（車が来ないだろう。）」運転をやめ、「～かもしれない。（車が来るかもしれない。）」運転をする。

事例39 乗用車運転中、標識に衝突する

1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験6ヶ月、30歳代の女性
作業	通勤途上
災害の型	交通事故（道路）
起因物	道路標識
傷病	頸部障害
災害の程度	2ヶ月の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、在宅介護サービスを終え、事業場の乗用車を利用して帰途につくとき、乗用車が右側車線から急に走行中の車線に飛び出してきたため、避けようと急ハンドルを切ったところ、左側にあった道路標識とバス停に激突し横転した。横転したはずみで、全身を強打した。

3 原因

- (1) 追い越し車線の車が急に進路を変更してきたので、急ハンドルをきり衝突してしまった。
- (2) 前方に気をとられ、となりの車を見ていなかった。

4 対策

(1) 事業者

- ① 交通安全教育を定期的実施する。
- ② 安全意識高揚の教育（KYT—危険予知訓練の導入等）を行う。

(2) 介護労働者

- ① 追い越し車線を走行中の車と、隣り合わせで走行しない。
- ② ハンドル操作で危険を回避せず、ブレーキをかける習慣を付ける。
- ③ 運転中は視野を広く保つよう心がける。
- ④ 飛び出し等を想定し、いつでも止まれるようにしておく。